

九州運輸局メールマガジンのご利用ありがとうございます。

【目次】

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(9月11日～9月24日)
トピックス
プレス発表
- 2.現場レポート
造船所の労働災害ゼロを目指して!(海事振興部船舶産業課)
やまと競艇学校卒業式(海事振興部船舶産業課)
- 3.お知らせ
9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です～秋の全国交通安全運動を実施中(9月21日～30日)
- 4.編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】(9月11日～9月24日)

トピックス
平成 22 年度におけるピジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)において国との連携を希望する事業の提案募集について(9月11日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/topics/file032/file032_090911.pdf

プレス発表

《観光・鉄道》

“鉄道&九州遺産観光イベント”「百年レイル観光フェスタ」の開催について(9月14日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090914_2.pdf

《物流》

「第6回九州グリーン物流パートナーシップ推進協議会」の開催について～環境にやさしい物流への取り組みを応援～(9月14日)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090914.pdf>

《自動車》

コンテナ落下事故防止のための緊急街頭検査を実施～延べ172両を検査、乗務員40名から聞き取り調査～(9月18日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090918_2.pdf

《海事》

(有)木口汽船「福江～嵯島」間の旅客定期航路の延長を認可(9月18日)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press090918_1.pdf

【現場レポート】

造船所の労働災害ゼロを目指して!

9月11日、海技試験場において重大事故の撲滅をめざし、造船所の「統括安全衛生責任者研修会」を全国造船安全衛生対策推進本部(略称「全船安」と共同開催しました。

造船現場は、いくつもの職種が混在して作業を行っているため他の製造業に比べ、事故発生率が非常に高く、平成20年には全国で711件の休業災害が発生し、21名の方が亡くなっています。九州管内では、平成21年に入ってから、記憶に新しい1月のタラップ落下による死亡災害から、重大災害が3件発生しています。このような状況を受け、今回各事業所の製造責任者を対象に開催したものであり、参加者は皆、真剣な表情で講義に聴き入っていました。

研修会では、4つのテーマ「管理の意義と責任」「管理体制」「修繕船工事における管理」「管理の具体的な進め方」に沿って講義が進められ、後半は各班に分かれて過去の災害発生事例を元に事例研究を行い、原因究明と再発防止策について活発な討議が行われました。

修了式では、参加者39人に修了証が交付されましたが、これを受け取る顔には、更なる安全対策の徹底を誓う表情がはっきりと見受けられました。

やまと競艇学校卒業式

皆さんは、九州運輸局がモーターボート競走に関する業務を行っていることをご存じですか。九州運輸局では管内にある6競走場(下関・若松・芦屋・福岡・唐津・大村)で、公正かつ安全に競走が行われるよう、モーターボート競走法に基づき指導・監督等を行っています。今回は、9月18日、福岡県柳川市にある「やまと競艇学校」において執り行われた第105期選手養成訓

練卒業式の模様を紹介いたします。

やまと競艇学校は、モーターボート競走の選手、審判員及び検査員の養成訓練を行う全国唯一の教育訓練機関で、選手は毎年4月と10月に、審判員及び検査員は毎年4月に入学し、それぞれ1年間にわたる養成訓練を受けます。

競艇学校に入学するには高倍率の難関を突破しなければなりません、無事入学できても1年間にわたる厳しい訓練のため志半ばで辞める者もあり、第105期選手養成訓練生については、応募者623名(うち女子84名)の中から42名(同10名)が入学し、29名(同5名)が卒業しました。

卒業式は厳粛な雰囲気の中、モーターボート競走会会長の訓辞に始まり、九州運輸局次長、全国モーターボート競走施行者協議会副会長及び日本モーターボート選手会会長の祝辞、在校生の送辞、卒業生の答辞と滞りなく行われました。

競艇学校の入学試験が難関であることは既に述べましたが、それでも近年の少子化及び大学への進学率の増加等により一時期に比べて応募者が減少していました。この傾向を断ち切り広く優秀な人材を確保するため、年齢条件を「15歳以上21歳未満」から「15歳以上30歳未満」にすることを柱とした選手応募資格の改正が行われ、新応募資格の初めての適用となる平成21年4月入学の第106期選手養成訓練生については、応募者が前年度の倍を超える1,706名(うち女子218名)となり、40名(同5名)が入学しました。第106期生では大学卒業者や社会人経験者等新たに受験可能となった年齢層が半数以上を占め、中には生徒に夢を与えるため小学校教諭を辞めて競艇学校に入学した訓練生もいます。

やまと競艇学校では、技術面のみならず「礼と節」に基づく躰教育が実施されており、実際、卒業式においても「気を付け」と号令があれば一斉に気を付けの姿勢になり、「礼」と号令があれば一斉に15度の角度で礼をするという一糸乱れぬ姿に躰教育の一端を垣間見ました。卒業式終了後、教官にその趣旨を尋ねたところ、社会人としての常識を教えるということもあるが、訓練中は一瞬の気のゆるみが重大事故につながりかねないので、事故を起こさないようにするためもあるとのことでした。

卒業式に先立って行われた卒業記念競走では、渡辺 悟訓練生が4コースから豪快なまくりでトップを奪い第18代()やまとチャンピオンに輝きました。表彰式の最後にチャンピオンを卒業生全員が取り囲みプレス向けの写真撮影が行われましたが、このときばかりは、日頃厳しい表情の卒業生の顔にも笑顔がこぼれ微笑ましく思えました。また、卒業式修了後、卒業生全員が1年間苦楽をともにしたボートを慈しむように磨いている姿も非常に印象的でした。

今回無事に卒業した第105期生は、今年11月から全国各地でデビューしますが、全員の活躍が期待されることです。

選手教育訓練所は、平成13年3月に山梨県の「本栖湖」から「やまと」へ移りました。初代やまとチャンピオンは第88期生です。

=====

【お知らせ】

9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です～秋の全国交通安全運動を実施中(9月21日～30日)

平成21年秋の全国交通安全運動が、9月21日から9月30日までの10日間実施されています。

本運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として毎年春と秋の2回実施されているものです。

また、運動期間中の9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。本運動の展開に併せて、その趣旨が国民に正しく理解されるよう努めています。

秋の運動の全国重点目標は、「高齢者の交通事故防止」を運動の基本とするほか、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「飲酒運転の根絶」です。国土交通省はもとより、警察庁、総務省をはじめ、各省庁、地方自治体、各関連協会団体等が主催し、支援協力体制で運動に取り組んでいます。

九州運輸局においても、国土交通省の実施計画に基づき 事業用自動車の安全運行の確保 車両の安全対策の推進 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 事業用自動車の事故等の情報の提供 鉄軌道の安全確保 広報活動の推進 海上交通の安全確保の項目ごとに具体的な実施細目を定め、関係団体、事業者と一体となって、自動車運送事業者、鉄軌道事業者やその運転者等に対し、指導の徹底を図っています。

皆さんも特に法定速度の遵守、早めのライト点灯、交差点での安全確認を励行し安全運転に務めましょう。

=====

4. 編集長だより

九州運輸局メールマガジンの発行も、今号で50号を数えました。

第46、47号でもお知らせしましたとおり、次号からは毎週金曜日の発行となります。

九州における運輸、観光、交通環境に対応した様々な施策や皆様のお知りになりたい鉄道・自動車・海事の各運輸モードの情報、地域交通・観光・交通環境情報等を素早くお届けし、皆様のお役に立つメルマガを目指して参ります。お気付きの点等ございましたらご連絡して頂きますようよろしくお願いいたします。

=====

九州運輸局 総務部 広報対策官 森 益隆(もり ますたか)

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

◆バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html